

みどりの食料システム戦略と共生する 農協に向けて

J A 東とくしま 那賀川支所
経済課 長尾崇弘

みどりの食料システム戦略

みどりの食料システム戦略をご存じですか？



簡単な農業目標

2050年までに化学肥料農薬を**50%**削減

ネオニコチノイド系農薬は使わない

耕作面積に占める有機農業の取組面積の割合を**25%**
(100万ha)に拡大する。

東とくしま農協の取組

当JAは、県内でも有数の米の産地！！
有機農業にも力を入れています！



環境配慮 ・ 米単価 増！

普通栽培	ネオニコフリー米	特別栽培米	無農薬米
<ul style="list-style-type: none"> 化学肥料使用 農薬使用 	<ul style="list-style-type: none"> 化学肥料使用 ネオニコチノイド系農薬不使用 	<ul style="list-style-type: none"> 化学肥料半分 農薬除草剤使用 	<ul style="list-style-type: none"> 化学肥料不使用 農薬不使用

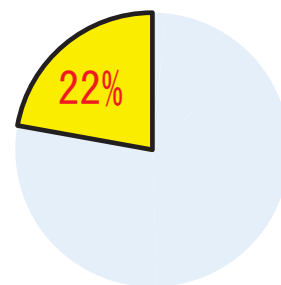
3

東とくしま農協の課題

正職員数が**激減！！**

60代以上の働き手が**約4人に1人**

正・嘱託臨時年齢別グラフ



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般職員	140	137	122	113	110
嘱託職員	14	17	16	14	18
臨時職員	76	62	59	64	66
合計	230	216	197	191	194



4

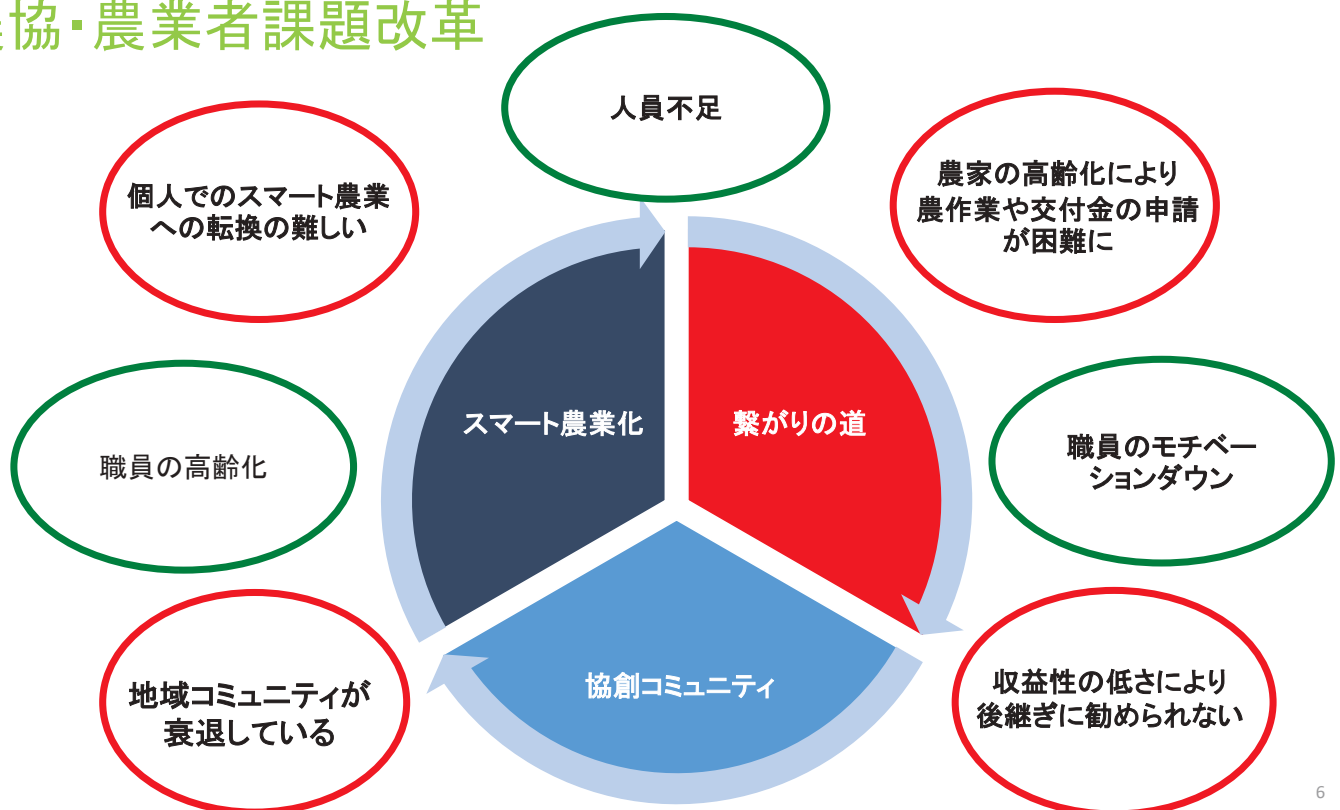
農業者が抱える課題

農業者の声

- 農作業や交付金の申請を自分でするには・・・
- 収益性の低さから、後継ぎに進められないなあ・・・
- 地域コミュニティが元気ないなあ・・・
- スマート農業に興味があるけどどうすれば・・・

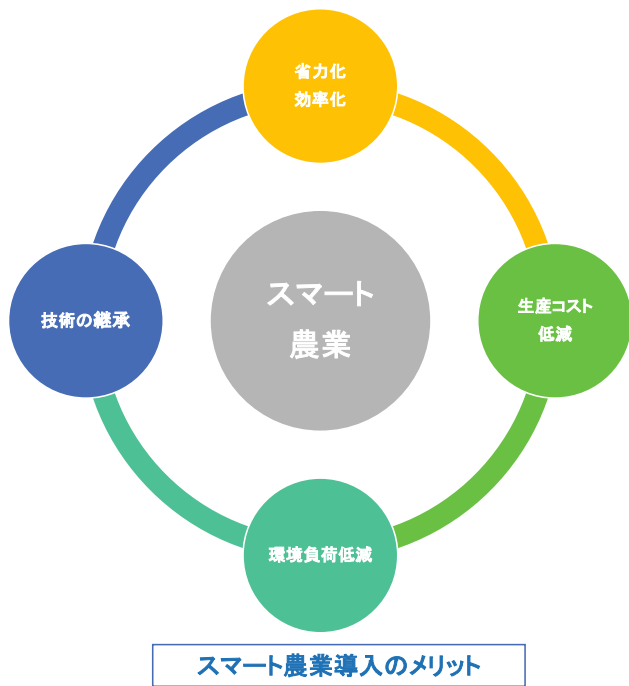
5

農協・農業者課題改革



6

改革案1 超高齢化社会におけるスマート農業化



農業者の(手足)や(目)さらには(頭脳)へ



当農協で活用するスマート農業



田植え後4カ月間
水管理はこれでお
任せ!!!

ドローン散布により
品質向上



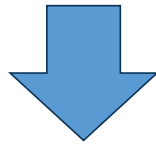
出典・圃場水管理WATARAS HPより引用

改革案2 繋がりの道

① 交付金補助金窓口の設立



② 農作業受託における外部人材の活用



【繋がりの道】

9

【繋がりの道】

交付金補助金窓口部門

⇒ ① 環境保全型農業直接交付金等の活用

農家の収入
14千円UP!
(10aあたり)

交付金の10%
農協手数料収入へ

職員へ10aあたり
500円の支給

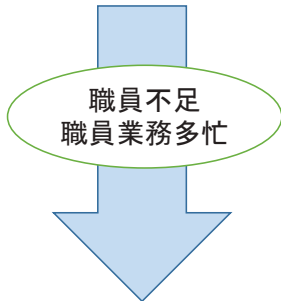


農家収入UP



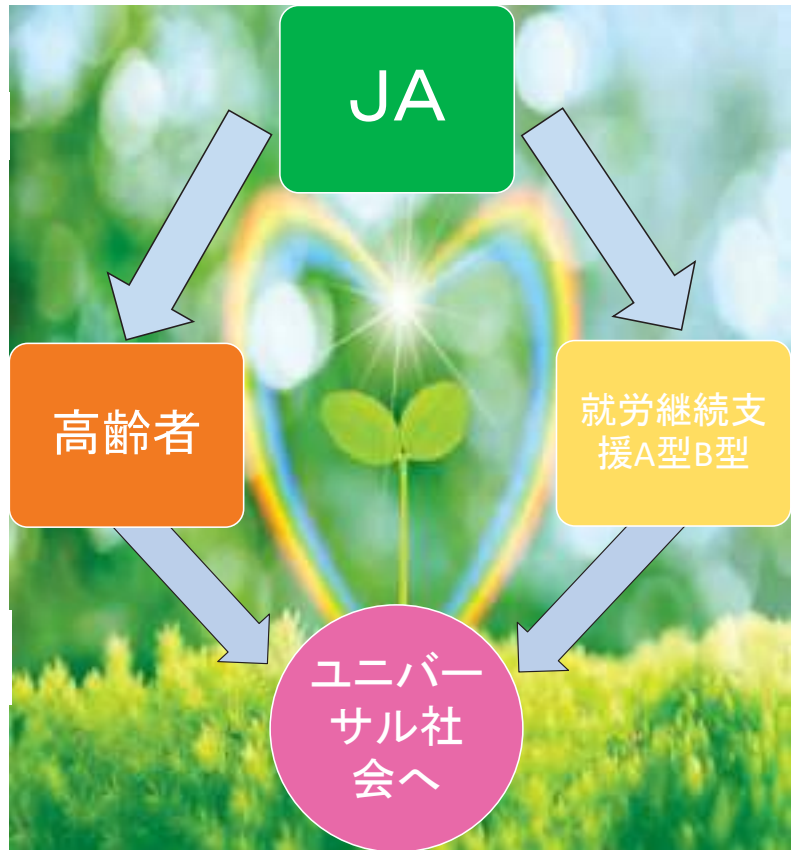
職員モチベーションUP

農協が作業受託しているのが現状！



活用① シルバー人材センター活用

活用② 福祉との連携



改革案3 協創コミュニティ意識向上の機会及びリーダー作り

組合員高齢化地域コミュニティ弱体化
部会員意識・知識低下

【協創コミュニティ】の開催する。

新たな地域のリーダー作り
地域コミュニティ団結力



【協創コミュニティとは】

新しいリーダーや地域コミュニティの【場】づくり

取組スケジュール



13

～おわりに～



◆現代農協を取り巻く環境が変化する中、農協と生産者の関わり方も同様に変化している。生産者は出荷の自由化により、農協離れが急激に進んでいる。農協も**変革**を行わなければならない。

◆農協・地域社会・農政・農業者を**融合**する事により**新しい農業の未来**に繋げて行きたい。

14